

■■メールマガジン「静岡県防災」第13号■■

東海地震かっ！！と感じた「駿河湾の地震」

今から13年前の2009年（平成21年）8月11日午前5時7分

御前崎沖の駿河湾を震源としてマグニチュード6.5、最大震度6弱の地震が発生しました。

当時、本県で震度5弱以上を観測したのは、2001年（平成13年）4月3日に発生した静岡県中部地震（マグニチュード5.3）の時、静岡市で震度5強を観測して以来でした。

この地震により、死者1名、負傷者319名の人的被害の他、駿府城跡の石垣が崩れたり、東名高速道路の法面が崩れる等の被害がありました。

また、半壊6世帯、一部損壊8,672棟の住宅被害があり、屋根瓦が落下したり、固定していない家具が転倒して家財が散乱したりしました。

早朝の強い揺れに「ついに東海地震かっ！？」と思った方も多いのではないのでしょうか。

静岡県では、その後発生した2011年（平成23年）の東日本大震災を踏まえ、「第4次地震被害想定」を策定し、東海地震対策から南海トラフ地震対策へと移行しました。

また、気象庁では平成29年11月1日から、「南海トラフ地震に関連する情報」を発表することとしました。

さらに、令和元年5月からは、南海トラフ地震に関連する情報を「南海トラフ地震臨時情報」と「南海トラフ地震関連解説情報」として発表することとしました。

特に「南海トラフ地震臨時情報」は、南海トラフ沿いで大規模な地震が発生する可能性が高まった場合に発表されます。

南海トラフでは、過去に想定震源域の東側と西側で、時間差で大規模地震が連続して発生した事例があります。

●1854年 安政東海地震と安政南海地震

南海トラフの東側で地震が発生した約32時間後に、西側でも地震が発生

●1944年 昭和東南海地震と昭和南海地震

南海トラフの東側で地震が発生した約2年度に、西側でも地震が発生

これら過去の地震を例にとれば、南海トラフ沿いの東側で地震が発生し、西側でも地震が続発する（後発地震）可能性が高まった場合に臨時情報が発表されることとなります。

臨時情報が発表された際は、大規模地震に備え、国や県・市町などからの呼びかけに応じた防災対応を取りましょう。

詳しくはこちら ⇒ <https://www.pref.shizuoka.jp/kinkyu/nankaitorahu.html>